令和7年８月10日

**日本保育文化学会　第11回大会 プログラム**

〒380－8525

長野県長野市三輪8－49－7

日本保育文化学会事務局

[office@hoikubunka.com](mailto:office@hoikubunka.com)

**【大会の概要】**

日　　時：令和7年８月30日（土）、８月31日（日）

会　　場：長野県立大学（長野県長野市三輪8－49－7）

主　　催：日本保育文化学会

実務担当：日本保育文化学会　第11回大会実行委員会

大会実行委員長：太田　光洋（長野県立大学）

大会事務局長：加藤　孝士（長野県立大学）

大会実行委員：中山　智哉、春高　裕美、宮城　正作、安氏　洋子、山本　直樹、渡邉　望

参加費：2,000円　　発表費：3,000円（参加費に加え）

（現職保育者・学生は、参加費：1,000円、発表費：無料）

　※大学院等に通っている大学所属教員は、「一般参加」扱いとなります。

**【大会日程】**

**8月30日（土）**

12：00　　　　　受付開始

　　　　13：00～13：30　総会・会長挨拶、保育文化研究編集委員会から

13：30～15：10　研究発表①（15分発表＋質疑応答5分）

13：30～13：50

好奇心や想像力を刺激するパネルシアターの可能性（Ⅰ）

―ワークショップ実践記録をもとに―

上原　由美（新潟青陵大学短期大学部）

13：50～14：10

保育者養成におけるドラマの活用に関する先行研究の成果と課題

山本　直樹（長野県立大学）

14：10～14：30

子どもが遊びを創造するとき―創作鬼ごっこに着目してー

桐川　敦子（聖徳大学）・並木　真理子（日本女子体育大学）

14：30～14：50

幼児の疾走動作に関する保育者の認識の特徴

谷尾　康太（兵庫教育大学附属小学校）・水落　洋志（兵庫教育大学）

集団討議：14：50～15：10

**15：30～16：50　保育実践発表（実行委員会企画）**

報告者　松本　洋平（信州大学教育学部附属幼稚園）

報告者　元田　彩葉（小布施町立わかば保育園）

報告者　宝谷　静香（pal国際保育園@東京外大）

18：30　　　　　懇親会　（6000円）

**8月31日（日）**

**09：00　　　　　受付開始**

**09：30～10：45　研究発表②　15分発表5分質疑応答**

9：30～9：50

地域の生活文化の向上を目指す保育所と保護者の取り組み

　ー多摩ニュータウンの民間保育所の事例からー

中山　佳寿子（埼玉学園大学）

09：50～10：10

保育と療育との連携２〜成果と課題〜

宮本　和行（藤ケ丘幼稚園）

10：10～10：30

企業主導型保育所「SukuSukuNurserySchoolAnju」の保育実践について

古谷　淳（高田短期大学）

　　　　10：30～10：45　集団討論

**11：00～12：30　会員企画ワークショップ**

遊びの中の演劇ワークショップ～保育者養成における「演劇知」とは何か～

企画者・司会・ファシリテーター　花輪　充 （東京家政大学）

ファシリテーター　　　　　山本　直樹　（長野県立大学）

ファシリテーター　　　　　朝元　尊 （豊橋創造大学 短期大学部）

ファシリテーター　　　　　金山　和彦　（東京家政大学）

ファシリテーター　　　　　川合　沙弥香（東京家政大学 短期大学部）

**12：30～　　閉会式**

**【研究発表】**

研究発表は口頭で行い、１件につき15分の発表と5分の質疑応答時間を設け、セッションごとに集団討議の時間を設けます。発表時間の厳守をお願いいたします。

**【自主企画（シンポジウム・ラウンドテーブル・ワークショップ等）】**

　第11回大会では、会員による自主的な企画として、シンポジウム、ラウンドテーブル、ワークショップ、情報交換会等を広く募集いたします。企画時間は90分とし、自由なテーマ設定のもと、会員相互の交流・研究の深化・実践の共有を図る機会としたいと考えております。

※発表用のパソコン（Windows10,Power Point(Office365)）を設置しておりますので、ご自由にご利用いただけます。OSの違いや互換性が気になる方は、 パソコンをご持参ください。会場の出力端子は、HDMIに対応しております。

以上